

みよちゃん

社協だより

102

令和6年 11月 11日発行
御代田町社会福祉協議会

広報「みよちゃん」は、あなたの共同募金で発行されています。



栄町サロン

「みんなのがっこう」

萩原みち子

栄町区のサロンは、平成二十五年から社協、包括の協力で区内はつらつサポーター（当時十五名前後）が中心となり楽しくやっていましたが、コロナ禍より休止のままだ状態でした。

五月にハートピア内に「みんなの学校」を立ち上げると参加者が趣旨を理解してくださり、教えたり教わったりの情景がとても楽しそうに感じました。それぞれの人生を歩んできた人達が集まると、みんな「宝物」を持っている事に気付かされました。

「これからの栄町サロンは、老若男女を問わず区民全員の居場所にしたい！」と大きな目標を持ち、区長はじめ分館、地区社協に協力していただき、栄町公民館でのサロンを再開する事ができました。地区社協役員の皆様には、準備、後片付け等でお世話になりますが、これもできるだけ自分たちで考えています。

栄町サロンを【誰が生徒か先生か…】の歌のように楽しい場所「みんなの学校」として大切に育ててゆきたいです。

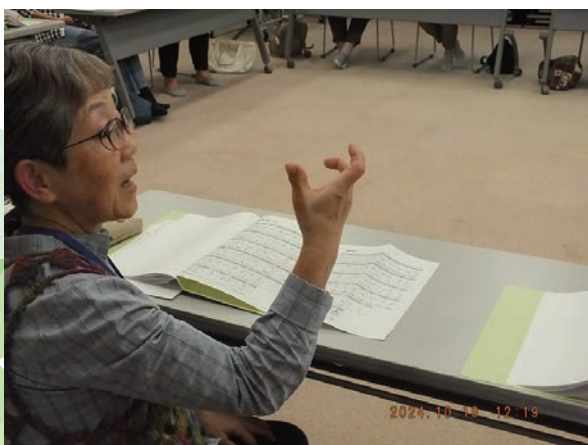
令和6年度御代田町手話交流会 ～知ることから地域が変わる～

昨年の社会福祉大会のテーマ「人と人がつながり
支え合う地域づくり」の中で、中島幸則先生に「聴覚
障がい」についての講演をしていただいたのを機に、
御代田町社会福祉協議会では、当事者や手話奉仕者の



佐久聴覚障害者協会会長岡村和人氏、笠井直子氏を
講師に迎え、手話奉仕者保坂真由美氏にお手伝いいた
だき、約3ヶ月間の交流会となります。

初回は岡村和人氏に手話言語について講話をしてい
ただき、受講者さんには自己紹介（始めようと思った



令和7年度も開催予定です。是非、手話初心者さん
経験者さん関係なく色んな方に参加してもらえたらと
思っています。宜しくお願い致します。



講話や手話学習により、聴覚障がい者の理解をはじめ
今後誰もが暮らしやすい地域づくりを考えるきっかけ
になればと、手話交流会が10月4日から始まりました。



きっかけ等）をしていただきました。

お知り合いの方もいたり、お隣さん同士で教え合う
姿も見られとても和やかな雰囲気でした。残りの回も
楽しみです。



第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025

25th Summer Deaflympics Tokyo2025

2025 年 11 月 15 日～ 26 日（12 日間）日本で初めて夏季デフリンピック競技大会が開催される事をご存知ですか？

1924 年にパリで第 1 回デフリンピックが開催されてから
記念すべき 100 周年の大会が東京で開催されます。

デフリンピックとはオリンピック・パラリンピックと何が違うのでしょうか？

デフリンピックとは、デフDeaf（英語で「耳がきこえない」という意味）+ オリンピックの事で

国際的な「きこえない、きこえにくい人のためのオリンピック」です。

競技中は補聴器などを外し、全員が公平に聞こえない立場で国際手話を使ったり、スタートランプや旗などで視覚による情報保障が特徴とされ
それ以外はオリンピック同様のルールで実施されます。



大会ビジョン 【大会を通してどのような未来をつくっていきたいか その想いをことばにしたもの。】

- ① デフスポーツの魅力や価値を伝え人々や社会とつなぐ
- ② 世界に、そして未来につながる大会へ
- ③ 誰もが個性を活かし力を発揮できる” 共生社会の実現

大会では、全 21 競技が行われます

陸上・バトミントン・バスケットボール・ビーチバレーボール・ボウリング
自転車（ロード）・自転車（MTB）・サッカー・ゴルフ・ハンドボール・柔道
空手・オリエンテーリング・射撃・水泳・卓球・テコンドー・テニス
バレーボール・レスリング・（フリースタイル）・レスリング（グレコローマン）



東京2025デフリンピックをみんなで応援しましょう！

※ 障害のあるなしに関わらず、共にスポーツを 楽しみ、尊重し合う共生社会の実現に
つなげるために、大会ボランティアを募集するそうです。

【募集期間】2024 年 11 月 15 日（金）から 2025 年 1 月 31 日（金）まで（東京都 HP より）

第10回

やまゆり祭

フォーカス

2024/10/19



わたあめ大好き



わたあめ大好き



みよたん大好き



みよたん大好き



能登半島大雨災害義援金



エイッ！

焼くんジャー



イケメン焼きそば隊



カゴ職人



コカリナの演奏



御代田中学校吹奏楽部の初舞台

第4回御代田町シニアクラブマレットゴルフ大会

令和6年8月22日、やまゆり公園マレットゴルフ場にて第4回マレットゴルフ大会を開催しました。本年度も社会福祉士を目指した実習生を交えて、多くの参加者と熱戦を広げました。



サマーチャレンジボランティア体験 2024

令和6年8月2日(金)・3日(土)に、御代田中学校生徒を対象にした「サマーチャレンジボランティア体験 2024」を実施しました。2日(金)は、ボランティア活動について学び、町スポーツ推進員や町身体障害者福祉協会の会員のご協力をいただきながら、モルック体験を行いました。3日(土)は、一般財団法人一善会 SC あさまの方をお呼びし、フットサル交流会を実施しました。



【能登半島地震】はるばるバザール出店

令和6年7月27日(土)に開催された龍神まつりにて、能登半島地震災害支援として、はるばるバザールに出店しました。石川県能登町の方4名及び浅麓コミュニティカレッジの方をお呼びし、能登町地元の物品販売や七尾市の物品販売を行いました。当日、ご支援いただいた皆様、ご理解とご協力いただきありがとうございました。



実習生の受け入れ

令和6年8月8日～9月14日までの期間、国家資格である社会福祉士の取得を目指した実習のため、公立大学法人長野大学から2人の学生を受け入れました。

-- 実習生より --

長野大学社会福祉学部 保母 真琴

御代田町社会福祉協議会での実習を通して、御代田町の各地区の特色を感じることができました。御代田町には、公民館や世代間交流センターが多くあり、人が集う場所が各地にしっかりとあるという特長を活かすことで、サロンやお祭りなど地域での活動を活発に行うことができるのだということを知ることができました。

実際に、お祭り、コミュニティルーム、サロン活動などのさまざまな地域の方々の集いの場に参加させていただきました。参加している地域の方々はとても活動的であり、これらのような活動を通して、地域住民同士のつながり、また、生きがいや心身の健康へとつながっているのだと考えることができました。伝統を受け継いだり、多くの移住者の関わりがあったりと、地区ごとの特色を活かした活動に関わらせていただき、地域住民の結びつきの強さを感じることができました。ありがとうございました。

長野大学社会福祉学部 木戸地 愛

御代田町の皆様、実習生として受け入れてくださり、素晴らしいことの数々を教えていただき、本当にありがとうございました。実習の中で皆様と関わらせていただく中で、地域における皆様のパワーを身を持って感じ、そのお一人お一人のお力が「御代田町」を形作っているのだと強く感じさせられました。

また実習中、自身の至らなさに自信を失うこともありましたが、そんな中、皆様の「優しさ」や「暖かさ」に元気づけられ、自分なりに懸命に実習に向き合うことができました。皆様の「暖かさ」は、様々な場面で誰かを元気づけているとても大切なものだと感じ、これからもその「暖かさ」を大切にしていっていただきたいと、奮闘ながら感じました。

この実習は、今後自身が大学で福祉についての学びを深めるために、多くの大切な視点を与えてくれた貴重な経験となりました。約一ヶ月間という短い間でしたが、皆様、本当にありがとうございました。



マイサポートプランノート 作りました！

マイサポートプランノートとは・・・

自分が意思疎通ができなくなったり、死亡した時などに備えて、必要な情報を書き残しておくためのものです。人間関係・銀行口座・保険・葬式に関することなどを事前に記しておくことで、死後に対応するひとが動きやすくなるメリットがあります。

また、自らの人生を振り返り、大切な人にメッセージを伝えることもできるので、いざというときに後悔するのを防ぐためにも、準備しておくのがおすすめです。そのほかにも、自分の人生を振り返り、あとの世代に伝えていきたい場合などにも活躍します。

御代田町社協のサイトにはPDF ファイルでおりますので、ぜひダウンロードして印刷してご活用ください。

「生き方」「暮らし方」をつくる2つのメリット

1. 万が一に備えて自らがつくる安心未来設計書として
このノートは、自分の未来を創造する人が自分で作り上げる未来設計書です。これまでの生活を振り返り、これからの生活を予測しながら、今後の生き方と暮らし方を具体的に書き、後継者や地域社会で生きる家設計書になるようになります。

2. 自らの意思を継いだり手帳として
ひとり暮らしの場合、あるいは認知症が始まり記憶に不安があるときなど、このノートに記述した「自分はこうしたい」「こうやって生きていきたい」という記録が、第三者の意思を継ぐとき、自分の意思を相手に伝える参考材料として活用することができます。

気軽に取り組みます
さっそく、TRY！

記入日 年 月 日
氏 名

【ノート見本】



DOWNLOAD



スタッフ大募集 !! 契約(パート)職員募集

【募集職種】

介護職員 ・時給 1,000 円～ 1,300 円
・賞与 年 2 回（契約により異なる）

【要資格】

・介護福祉士 または 介護職員初任者研修修了者

【休 日】

・週休 2 日制
・年間休日 113 日（令和 4 年度平均）
・年次有給休暇 6 カ月経過後支給
・特別休暇（介護休暇、育児休暇、忌引休暇、ボランティア休暇、新型コロナウイルス感染症に係る特別休暇等）

【手当等待遇】

・資格手当 勤務時間により、上限 月 6,000 円支給
・通勤手当 勤務日により、上限 月 13,700 円支給
・扶養手当 1 人 月 4,000 円又は月 6,000 円支給
・住居手当 上限 月 24,000 円支給
・夜勤手当 1 時間 900 円（22 時から 5 時）
・その他 職場手当、職務手当、早朝・夜間手当
※手当については一定の要件があります。

【その他福利厚生】

・食堂等利用可（1 食 350 円）
・インフルエンザ予防接種等補助
・各種資格取得の補助

詳しい募集内容等について知りたい方は、
以下の QR コード又は下記のアドレスから。



▲町社協 Web ページ ▲職員募集ページ

私たちと一緒に、誰もが安心して暮らせる

「地域づくり」を担いませんか？

随時募集しておりますので、お問い合わせください。

問い合わせ先：社会福祉法人御代田町社会福祉協議会
ハートピアみよた 総務係

問い合わせ時間：平日の 8 時 30 分～ 17 時まで

☎ 0267-32-1100

令和 6 年度能登半島地震義援金実績報告

令和 6 年能登半島地震に伴い、亡くなられた方々に心からお悔やみ申し上げますとともに、被災されたすべての方々に、お見舞い申し上げます。御代田町及び御代田町社会福祉協議会では、令和 6 年 1 月 5 日（金）より令和 6 年 9 月 30 日（月）にかけて、令和 6 年能登半島地震義援金を受付いたしました。ご寄付いただいた義援金につきましては、日本赤十字社長野県支部を通じて、被災都道府県が設置する義援金配分委員会へ全額送金しましたことをご報告いたします。なお、募金額については、下記のとおりとなります。

受付期間：令和 6 年 1 月 5 日（金）より

令和 6 年 9 月 30 日（月）

合計金額：金 1,677,144 円

令和 6 年度日赤活動資金募集 実績報告

令和 6 年 5 月から 6 月末日まで行った募集運動について下記のとおり報告いたします。ご理解とご協力いただき、ありがとうございました。

件 数：3,318 件

実績額：2,647,510 円

「やまゆり共同作業所」では、障がいを持つ方々が、手縫い雑巾の作成をしています。もし、ご家庭で使わないタオル（未使用の物、色柄物会社名入りでも結構です）がありましたら、お譲りください。直接お持ちいただくか、ご連絡いただければ取りに伺います。

【お問い合わせ】

TEL 0267-32-1118

MAIL でもOKです。➔



社協だより
みよちゃん
No.102



発行日：令和 6 年 11 月 11 日

発行者：社会福祉法人御代田町社会福祉協議会

住所：御代田町大字御代田 1772 番地 1

ハートピアみよた

TEL：0267-32-1100

FAX：0267-32-1111

WEB：https://miyota-shakyo.sakura.ne.jp/



とうもろこし

発行 御代田町ボランティア地域活動連絡協議会

No.86



クリーンアップボランティア

土屋昌良

去る七月二十七日土曜日、御代田の夏を彩るイベント「龍神まつり」が開催され、晴天に恵まれ、また五十回節目の今回は大勢の聴衆で賑わいました。

そんな中翌日の二十八日、御代田中学校清美委員会、環境福祉委員会、町ボランティア地域活動連絡協議会の三者によるごみ拾いを実施いたしました。午前八時に龍神の杜公園に集合、公園内、駅のロタリー、公園から駅まで、公園から中学校周辺等五の班に分かれ実施しました。

夜までの開催のため、実行委員会の皆さんがゴミの対応をしていましたが、大勢の皆さんが参加したため、生け垣の中及び物陰にゴミが散乱していました。

一時間程で作業が終了し、龍神の杜公園周辺はきれいになり、全員で記念撮影、その日は気分の良い一日でした。

中学生の皆さんありがとうございました。



五年振りの

「広域佐久傾聴ボランティア学習会」

御代田町「傾聴の会」 加藤公文

去る九月十一日、ハートピアでコロナ禍により中断していた佐久地区合同の学習会を開催しました。長和町からの特別参加もあり、今回の参加者は五グループ三十名となりました。同好の士が五年振りに集まり、日頃の



活動の苦労話や、喜びについて活発な情報交換をする等、楽しく充実した二時間を過ごすことが出来ました。来年の御代田での再会を期して散会しましたが、常に学習し続けることの大切さを改めて痛感しました。

新しい繋がり

安心コール 閑

自然を求めて移住して来て今年の冬で一年半になります。近所の方々に生活情報は教えて頂きましたが、地域とのつながりはありませんでした。

御代田町での老後を考えたときに、将来は周りの皆様のお世話になるであろうと思い、少しでも社会参加したく「安心コール」に参加しています。

元々おしゃべりが好きだったのと年配の方と話をするのは全く苦痛にならないので、皆様とお話するのを楽しみにしております。

「安心コール」に参加していくうちに御代田町での介護などの知識も得られ、地域との繋がりもできてきて楽しい時間としてのボランティア活動となっています。

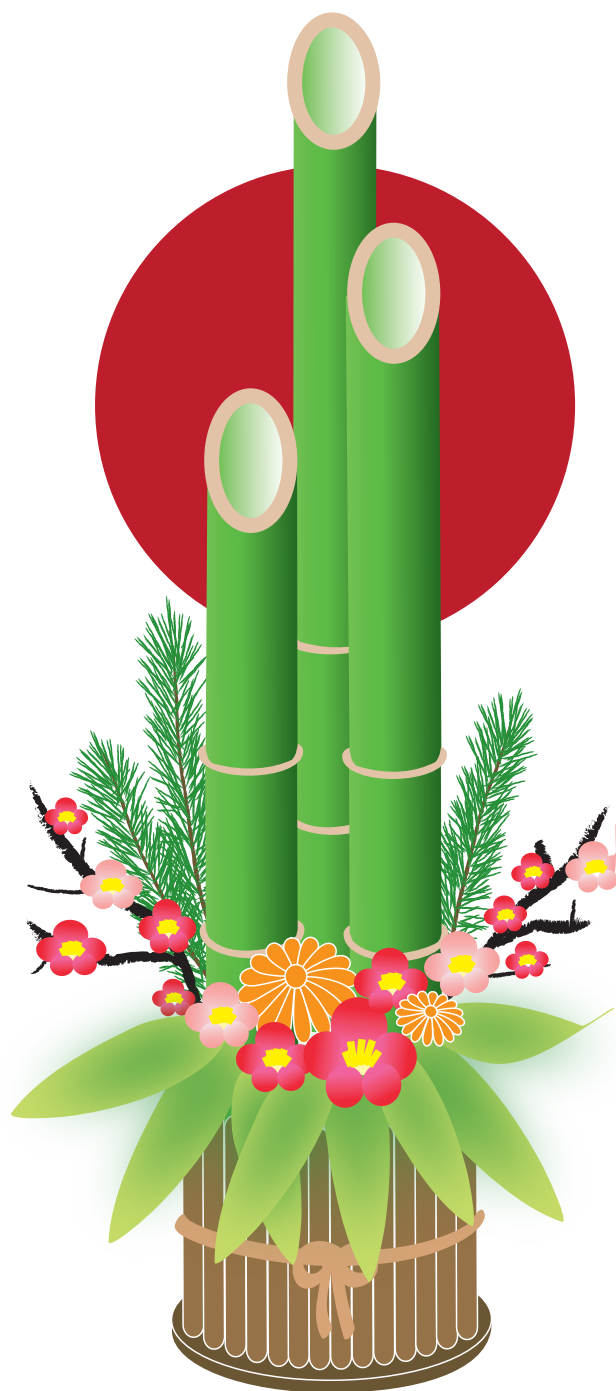


移住してこれられた方々も色々なボランティア活動に参加して、新しい繋がりを作ってくださいませんか。

「紙の門松」

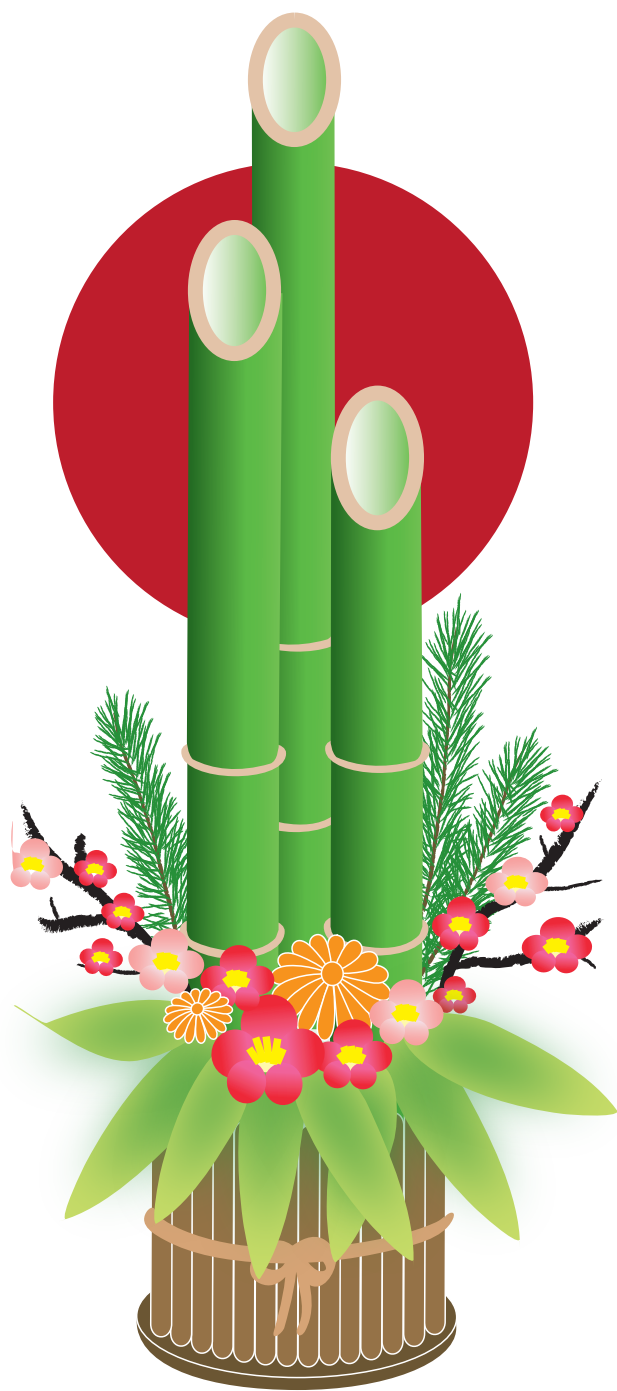
この「紙の門松」は、皆様の共同募金で作成しました。
裏面に点線を引いてあるので、切ってお使いください。

賀正



社会福祉法人 御代田町社会福祉協議会
御代田町共同募金委員会

賀正



社会福祉法人 御代田町社会福祉協議会
御代田町共同募金委員会

「紙の門松」

切り取り線

切り
取り
線